

【文部科学省「成長分野を支える情報技術人材の育成拠点の形成(enPiT)enPiT-Pro」選定】

2018 年度

情報セキュリティプロ人材育成短期集中プログラム (ProSec)

[メインコース]

「CSIRT 運営管理者向けメインコース」

-10 月開講分-

受講生募集要項



明日の信頼を創ろう。

情報セキュリティ大学院大学

INSTITUTE of INFORMATION SECURITY

1. プログラム概要

(1) 「情報セキュリティプロ人材育成短期集中プログラム (ProSec)」について

本要項は、文部科学省「成長分野を支える情報技術人材の育成拠点の形成(enPiT) enPiT-Pro」に選定された「情報セキュリティ人材育成短期集中プログラム (ProSec)」に基づいて、情報セキュリティ大学院大学が開講する社会人向けコース「CSIRT 運営管理者向けメインコース」の2018年度10月開講分の受講生募集要項となります。

(2) 「履修証明プログラム」について

平成19年の学校教育法の改正により、大学等における「履修証明制度」が創設されました。これは、正規課程に在籍する学生を対象とする学位プログラムとは別に、一般社会人等を対象として120時間以上の教育プログラムを提供し、修了者に対し、学校教育法に基づき、大学が公式に履修証明書を交付する制度です。

※履修証明制度に関する文部科学省サイト内ページ

http://www.mext.go.jp/a_menu/koutou/shoumei/

2. 2018年度10月開講「CSIRT 運営管理者向けメインコース」の内容

■CSIRT 運営管理者向けメインコース (CS-M2018-2-B)

IT実務の現場でセキュリティ対策を技術面・管理面で牽引できる実践的リーダーを育成するコースです。情報セキュリティの学び直しをしたい現役IT技術者、産業界で情報系業務に従事している技術者の方々に向け、組織における標的型攻撃対策、ソフトウェアやネットワークシステムの設計・開発段階でのセキュリティ対策、セキュリティマネジメント、CSIRT運営等にかかわる業務遂行に必要な知識、スキルを習得していただくためのプログラムを提供します。

授業科目・演習		スケジュール等
必修演習	CSIRT 実践 (CSIRT 構築の手引き、NW セキュリティ技術、Web アプリ検査、デジタルフォレンジック) *1	10/29、30、 11/5、6、12、13 、11/15、16、26、27、12/10、11、12 各日とも 9:40～17:00 (1 コマ 90 分×4 コマ×9 日) (計 54 時間)
選択演習	実践サイバーレンジ演習*2	2/6、2/7、2/8 各日とも 9:00～17:50 (1 コマ 90 分×5 コマ×3 日) (計 22.5 時間)
選択科目	情報システム構成論	月 5 限 (18:20～19:50) 計 22.5 時間 ※10/1 開講
	情報セキュリティマネジメントシステム	月 6 限 (20:00～21:30) 計 22.5 時間 ※10/1 開講
	セキュアシステム構成論 B	木 6 限 (20:00～21:30) 計 22.5 時間 ※10/4 開講
	国際標準とガイドライン	金 6 限 (20:00～21:30) 計 22.5 時間 ※10/5 開講

	サイバーセキュリティ技術論	隔週土 3・4 限 (13:00~16:10) 計 22.5 時間 ※10/6 開講
--	---------------	---

*1 必修演習「CSIRT 実践」の演習内容

[CSIRT 構築の手引き] (10/29、10/30)

セキュリティインシデント対応の基本的なプロセス、および対応時に用いられる技術について、解説と演習を通して習得するほか、組織内でのインシデント対応組織 (CSIRT) の立上げと運用、および CSIRT 連携の進め方についてケーススタディを通して学びます。また、現実に行われている攻撃手法のデモや Web サーバのログ解析演習を通して、サイバー攻撃によるインシデントの実例について学びます。

[NW セキュリティ技術] (~~11/5、11/6~~、11/15、11/16)

検査ツールを利用したサーバに対するポートスキャン検査演習と脆弱性検査演習を行うとともに、発見された脆弱性を是正するための対策演習を行い、結果を報告書にまとめる演習を実施します。

[Web アプリケーション検査] (~~11/12、11/13~~、11/26、11/27)

脆弱性を持つ Web サーバが設置された環境を利用し、主要な検査項目の演習を集中して行うとともに、対策の提案を含む検査結果報告書をまとめる演習を実施します。

[デジタルフォレンジック] (12/10、12/11、12/12)

デジタルフォレンジックの基礎知識・技術の解説、Windows 端末の解析で共通的に実施される基本的な作業に関する解説と実習、企業におけるインシデントを想定した本格的な解析演習を集中して行うとともに、結果を報告書にまとめる演習を実施します。

*2 選択演習「実践サイバーレンジ演習」の演習内容

イスラエル IAI 社開発の世界屈指のサイバー攻撃対策要員養成システム「TAME Range」を使用した実践的な演習を通じてインシデントレスポンススキルを習得していただきます。サイバー攻撃に対応可能な実践的スキルを修得するための講義およびハンズオン演習が中心となり、初日は、演習環境についての講義や防御ツール・調査・分析ツールの解説および演習、2 日目と 3 日目はサイバーレンジ「TAME Range」を用いて、実例に基づく攻撃シナリオによるリアルな防御演習を行います。

※必修演習(*1)、選択演習(*2)以外の選択科目のシラバスについては、下記 Web ページから参照のこと。

<http://www.iisec.ac.jp/education/curriculum/>

[修了要件]

- パターン 1 必修演習「CSIRT 実践」+ 選択演習「サイバーレンジ演習」+ 選択科目より 2 科目を履修すること。
- パターン 2 必修演習「CSIRT 実践」+ 選択科目より 3 科目を履修すること。

3. 受講資格と前提条件

次のいずれか一つに該当する者（大学院修士課程入学レベル）

- (1) 学校教育法第 83 条に定める大学を卒業した者または 2018 年 9 月 30 日までに卒業見込みの者
- (2) 学校教育法第 104 条第 4 項の規定により学士の学位を授与された者または 2018 年 9 月 30 日までに学士の学位を取得見込みの者
- (3) 外国において、学校教育における 16 年の課程を修了した者または 2018 年 9 月 30 日までに修了見込みの者
- (4) 外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより当該外国の学校教育における 16 年の課程を修了した者または 2018 年 9 月 30 日までに修了見込みの者
- (5) 文部科学大臣の指定した者
- (6) 2018 年 9 月 30 日において学校教育法第 83 条に定める大学に 3 年以上(休学期間を除く)在学した者であって、本学の定める単位を優秀な成績で修得見込みであると認めたもの
- (7) 外国において学校教育における 15 年の課程を修得した者であって、本学の定める単位を優秀な成績で修得したと認めたもの
- (8) 外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより当該外国の学校教育における 15 年の課程を修了した者であって、本学の定める単位を優秀な成績で修得したと認めたもの
- (9) 学校教育法第 102 条第 2 項の規定により他の大学院に入学したことがある者であって、本学において、大学院における教育を受けるにふさわしい学力があると認めた者
- (10) 本学において、個別の入学資格審査により、大学を卒業した者と同等以上の学力があると認めた者で、2018 年 9 月 30 日までに 22 歳に達する者
- (11) 我が国において、外国の大学の課程（その修了者が当該外国の学校教育における 16 年の課程を修了したとされるものに限る。）を有するものとして当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であつて、文部科学大臣が別に指定するものの当該課程を修了した者
- (12) 専修学校の専門課程（修業年限が 4 年以上であることその他の文部科学大臣が定める基準を満たすものに限る。）で文部科学大臣が別に指定するものを文部科学大臣が定める日以後に修了した者
- (13) その他本学において、大学を卒業したものと同等以上の学力があると認めた者

本コースを履修するための前提条件は以下のとおりです。

■CSIRT 運営管理者向けメインコース（CS-M2018-2-B）

以下の領域における基本的な知識を有すること（情報系・理工学系学部卒業程度）

- ・コンピュータネットワーク（TCP/IP、無線 LAN）
- ・コンピュータアーキテクチャ
- ・オペレーティングシステム（Windows および UNIX 系）
- ・プログラミング言語（C 言語、アセンブラ）

4. 募集人員

若干名

5. プログラム実施場所

情報セキュリティ大学院大学校舎 ※横浜駅きた西口徒歩1分
(〒221-0835 神奈川県横浜市神奈川区鶴屋町 2-14-1)

6. 出願書類

- (1) 情報セキュリティ大学院大学「情報セキュリティプロ人材育成短期集中プログラム (ProSec)」願書 (所定様式(様式 1-10 月開講分))
- (2) 最終出身大学等の卒業証明書又は卒業見込証明書
- (3) 最終出身大学等の成績証明書
- (4) 写真2葉 (縦3cm×横2.5cmのもの。出願前3ヶ月以内に撮影したもの。カラー、白黒、スピード写真いずれも可。裏面に氏名を記入のこと)
- (5) 志望理由書 (所定様式(様式 2))
- (6) 履修願 (所定様式(様式 3-10 月開講分))に履修希望科目を記入し、提出のこと)

[注] 「2. 出願資格」の(6)～(10)、(13)で出願を希望される方および外国人留学生の方は、上記のほか別途書類が必要となります。詳細は、本学 ProSec 事務局にお問い合わせください。

7. 審査料

20,000 円 (非課税)

※出願期間中に、以下のいずれかの銀行口座にお振込みください。

※一旦振り込まれた審査料は、いかなる理由があっても返金いたしかねます。

※振込み手数料は、振込名義人のご負担とさせていただきます。

【口座名】 学校法人岩崎学園 検定料口
・三井住友銀行 横浜駅前支店 (普) No. 5535638
・横浜銀行 横浜駅前支店 (普) No. 1081583

8. 出願期間

2018年8月24日(金)～9月7日(金)

出願書類の受付は郵送のみです。郵送は書留郵便とし、出願書類一式を本学 ProSec 事務局へ郵送してください (各締切日必着)。受付期限後到着のものは受理しませんので、郵便事情等を十分考慮して早めに送付してください。

宛 先

 : 〒221-0835 神奈川県横浜市神奈川区鶴屋町 2-14-1
情報セキュリティ大学院大学 ProSec 事務局

9. 選考方法

書類審査。ただし、必要に応じて面接を課す場合があります。

10. 選考結果

出願書類受領後、審査が終了次第、順次、志願者の指定する宛先に、選考結果を送付します。

11. 受講手続

選考結果とともに送付する書類にしたがって、受講手続をしていただきます。

12. 受講料

コース名	受講料（非課税）	納入期限
CSIRT 運営管理者向けメインコース (CS-M2018-2-B) パターン1	700,000円	2018年10月15日
CSIRT 運営管理者向けメインコース (CS-M2018-2-B) パターン2	460,000円	2018年10月15日

※振込口座等の情報は、受講手続き書類に同封される請求書に記載されます。

※一旦振り込まれた受講費等は、いかなる理由があっても返金いたしかねます。

※振込み手数料は、振込名義人のご負担とさせていただきます。

13. 履修証明書について

学校教育法に基づく履修証明制度により、コース修了者には、「情報セキュリティプロ人材育成短期集中プログラム（ProSec-X）履修証明書」を授与します。

14. 単位認定について

演習を除くコースの授業科目として履修し、成績評価を受けて合格した授業科目については、単位を認定します。当該科目の単位については、本学に正規の学生として入学した際、10単位を上限として修了所要単位に認定される場合があります。また、本人の請求により単位修得証明書を発行します（有料）。

15. その他

- (1) 受講手続完了者には、ProSec 受講生証を交付します。手続期間内に手続をしなかった場合は、辞退したものとみなします。
- (2) ProSec 受講生には、通学証明書（通学定期用）および学生割引証は発行されません。
- (3) 本要項に記載されているスケジュールは、2018年8月21日現在のものです。やむを得ない事情により、各授業科目・演習の一部日程について、休講、補講が発生する可能性がありますことを予めご了承ください。

本件に関するお問い合わせ先

情報セキュリティ大学院大学 ProSec 事務局
〒221-0835 神奈川県横浜市神奈川区鶴屋町 2-14-1
TEL : 045-311-7784(代) E-mail : prosec@iisec.ac.jp
(事務取扱時間) 平日 9:00～20:00 土曜日 9:00～17:30